

令和7年度 第2回 朝倉市総合教育会議

日時：令和7年12月18日（水）15:21～16:36

場所：ピーポート甘木 多目的ホール

出席者 構成員：林市長、早野教育長、上原教育委員、高倉教育委員、坂口教育委員、泉委員

関係課

教育部：草場部長

教育課：平井課長、牧草筆頭主幹参事、永井主幹参事、三好学校教育係長、梶原総務係長

文化・生涯学習課：篠原課長、手島生涯学習・スポーツ係長

保健福祉部：吉武部長

子ども未来課：時川課長、田中子育て支援係長、小野子育て支援係長

事務局

企画振興部：三浦企画振興部長、川上男女共同参画推進室長、廣田男女共同参画推進・青少年係長

（傍聴者 0名）

【1. 開会】

[進行：男女共同参画推進室長]

《 進行 》

（定刻より前ではありますが、本日の出席者がお揃いですので始めさせていただきます。）

ただいまより、令和7年度 第2回 朝倉市総合教育会議を開催いたします。

本日は、何かと気忙しい年の瀬の中、ご出席をいただき誠にありがとうございます。

それでは、まず本会議に先立ちまして、林市長より挨拶をいたします。

【2. 市長あいさつ】

皆さんこんにちは。

本日はお忙しいところ、令和7年度第2回朝倉市総合教育会議にご出席いただき、ありがとうございます。皆様には平素から、本市の教育行政にご尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

この総合教育会議は、市長である私と教育委員会が、互いに対等な執行機関の立場として、教育分野における課題や教育のあるべき姿について、協議・調整を行う会議です。各種情報を共有し、連携しながら、教育の条件整備など重点的に講ずべき施策等を効果的に推進することで、本市の教育行政をよりよい方向へ進めていきたいと考えております。

これから皆様方と闊達に議論することで、総合教育会議が、市の教育行政の更なる充実・発展に寄与することを期待いたしますとともに、教育長並びに教育委員会の皆様には、この会議を含め、今後とも市の教育行政のためにお力添えを賜りますよう、切にお願い申し上げます、開会

にあたっての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

《 進行：配付資料確認 》

それではお手元の資料に沿った形で進めさせていただきたいと思います。

まずは、資料の確認ですが、一番上にレジユメがございますホチキスどめ資料が一点、それから、本日の議題である「子ども計画」の資料、あわせて「eスポーツ交流事業」の資料の準備をしているところです。それぞれお手元ありますでしょうか。(それぞれ資料確認)。

それではレジユメがついております資料の方から、簡潔に説明をさせていただきます。

本日は泉教育委員さんが初めてということで、資料のつくりとしましては、レジユメをめぐっていただいて、1 ページの方に名簿を載せさせております。本会議の市執行部の出席者も含めた名簿、そして、2 ページにこの会場のレイアウト図を入れておるところですので、お改めください。

あわせて3~4 ページには、第1回でも添付しておりましたが、この総合教育会議の概要資料を掲載しておりますので、内容はそれぞれ確認ください。

【3. 議題(議事)】

それでは次第に沿って「3.議題」の方に入らせていただきます。

これからは、朝倉市総合教育会議設置要領第3条第1項において、市長が議長を務めることになっているのですが、令和4年度から早野教育長に議長をお務めいただいております。事務局として引き続き議長をお務めいただきたい旨をご依頼しましたところ、ご了解をいただいておりますのでそのような形で進めさせていただきます。(一同了承)

それでは、早野教育長、議事進行方よろしくお願いいたします。

《 議長：教育長 》

それでは、早速でございますが、3の議題について順次協議を行って参ります。

まず、「(1) 朝倉市子ども計画について」を議題といたします。執行部：子ども未来課より説明をお願いいたします。

(1) 朝倉市子ども計画について

《 説明：子ども未来課：資料 別冊1(表紙・概要版・体系表) 》

《 議長：教育長 》

子ども未来課の説明が終わりました。ご質問、ご意見等がございましたら、承ります。

A委員。

《A委員》

説明ありがとうございました。

今回のテーマをいただいてから自分なりに計画について見させてもらいました。本当に細やかに、子どもを真ん中に置いた形での施策が進められているということと、今までも

進めてきたということに関しては本当にすごいなって思っているところです。本当に大変だろうなと思います。

私は質問というよりは意見になると思いますけれども、これだけの多くの施策を、広範囲な関係課が協力し合いながら行っていかなければいけない現状があると思うんですが、きちんとした目的意識を持ってそれぞれが協力し合いながら連携していかないと、なかなかその手法に基づいて意見を言ったり修正するにしても、難しいだろうなという気はするんです。余りにも範囲が広いから。

それで、是非、組織的に進めていく中でやっぱりきちんとどこかが主体となってコーディネートしていきながら、全体を進めていくという、確実に横断的にチームとしてやっていく必要があるかなと思います。是非、大変だと思うんだけど、やはり最終的に子どもを真ん中に据えた朝倉市の施策が確実に前進するためにも、やはりそういう部分をはっきり役割分担し、コーディネートする中心をしっかりと据えて実施していただきたいなと思っています。

そこで、色々調べてみると「こどもまんなか宣言」という取り組みをしている市町村が、宣言文を出しているのがかなり見受けられます。是非、朝倉市もですね、そういう方向性を考えていただきたいということと、教育長が「令和の教育 10 訓」という形で取り組みを進めていますので、あさくらっこ宣言じゃないですけども、それに付随した形で幼少期から朝倉市の子ども達を健全にして行こうという、行動規範じゃないけれども、そういう方法をふまえた宣言あたりをしっかりと一緒に出して行けると、また1つ、今、教育長が進めていこうとしていることをさらに支援する形となり、力強い取り組みが進められるんじゃないかなというふうに個人的には思います。ご意見として何か参考になればと思います。

《 議長：教育長 》

関連で何か他にございますか。ないならば他の質問で。B委員。

《 B委員 》

質問させていただきます。

実状に応じて子ども計画事業に取り組まれていることに感心しておりますが、9ページの「地域子育て相談機関」、まだまだ地域においては浸透していないというのはあるのでしょうか、今後、令和8年度で3ヶ所、9年度で7か所、10年度以降で11か所と、具体的にどのようなところに設けられようとしているのかをお尋ねしたい。小学校なのか、保育所とか。

《 議長：教育長 》

子ども未来課長。

《子ども未来課長》

地域子育て相談機関についてですけども、これは国の方が市町村の実状に応じてということですので、できれば中学校区に1つは設置をすることが望ましいと思っております。市としましては、令和8年度からまずは、子育て支援センター：つどいの広場が甘木中学校の上の旧寿楽荘内にありますが、それから生い立つ保育園とひろにわ保育所がありま

す地域子育て支援センターの3か所を予定しております。

9年度からの7ヶ所というのはその3ヶ所に加えてまずは公立保育所をプラスする、公立保育所は全部で8保育所ありますので、令和10年度には更に加えて計11か所にする計画としていて、保育所ベースの相談機関を計画しているところです。

《 議長：教育長 》

B委員。

《 B委員 》

そこに専門の相談員さんを配置することになるのか。それとも誰かが兼ねるようになるのか。

《 議長：教育長 》

子ども未来課長。

《 子ども未来課長 》

子育て支援センターは、保育所に行っていないお子さんたちが、親子で気軽に行けるような場所を提供しており、親子の交流であったり、そこには保育士もいますので気軽に相談ができる場を設けている事業として実施しています。

例えば、児童相談所であるとか、子ども未来課にある子ども家庭センターであると少し敷居が高いと、そこまではないけれども、気軽に行ってちょっと相談ができるっていうような地域にある子育て相談機関を目指したいというところですので、保育所、保育士で相談を受けている状況となっているところです。

《 議長：教育長 》

B委員よろしいですか。それではほかにございましたら。A委員。

《 A委員 》

こちらも質問させていただきます。

地域全体への意識改革じゃないけど、せっかくこれだけのことを、子ども計画を作って、子どもたちを真ん中に据えてやって行こうと、それを地域の方々も理解していただいて、地域の方々がこの行政の取り組みの中に巻き込まれながら自分たちのアクション起こしていくような、そういう活動に結びついていくと素敵だなあと思うんですけども、何かそういうふうな計画ですね、そういう部分があればお聞きしたいと思います。

なぜかという、せっかく朝倉市が高校生の未来提言という形であれだけのことをしているのに、あれこそがまさしく子どもたちが真ん中の取り組みですよ。その取り組みの上でそれをどう絡めていくのかとか、子どもたちが発信していくことを具体的にしている部分もありますけれども、その取り組み等を絡めながら地域の方々の意識を変えていくように、回復できるようになると良いなあという思いもありますので、もしビジョンなり考え方がありましたらお聞かせ願いたいと思います。

《 議長：教育長 》

市の事業と地域との関連性ですね、それをどう持たしたら良いのかということですかね。よろしいですか。子ども未来課長。

《 子ども未来課長 》

ご意見でいただきました内容はやはり広範囲になりますので色んな考え方の整理が必要であると思いますが、最初に説明しましたが「子ども・子育て会議」の中でこの計画を策定しておりまして、事務局としては、本日出席しております教育課、文化・生涯学習課、そして男女共同参画推進室、それに健康課等も入りまして、一緒に計画事業を進めなければならないと思っておりますので連携しながら取り組んでいきたいと考えています。

初めての子ども計画策定になりましたので地域の方への計画周知については、ホームページから支所にも配布をさせていただいたところですが、地域の中での浸透・周知についてはまだまだ至ってないと思っています。

ただ事業につきましては言われました通り、高校生の提言であるとか、今年も子どもに関する催事とか色んな取り組みがあつているので、そういったところで関わりを持ちながら周知に努めたいと考えます。

《 議長：教育長 》

素晴らしい計画ができていますから、それを地域の方にもわかりやすく、見える化していくことは必要なことになるでしょう。他に委員さん方でございますでしょうか。よろしいですか。

なければ市長よりひと言お願いします。

《 市長 》

教育委員の皆様方から大事な部分のご指摘をいただきました。視点っていうのはやっぱり地域と行政との関係性が多かったのかというふうに思います。

それから「こどもまんなか宣言」については、自治体によっては宣言をされているところもあり、中身はそこまで詳しくありませんけれども、運用して重点的な取り組みをやっているところもあるように認識はしています。

そういうご意見をお聞きする中で、学校教育や、所謂、社会教育、PTAとか地域の社会教育の分野に入るんだろうと思いますので、そういったところでやっぱり就学してる子どもたちの支援を、朝倉市の場合は地域活動が非常に特色を持ったコミュニティ活動としてなされていると私は考えております。そのような中で現在まで行われてきていますので、今日いただきました教育委員の皆様方のご意見と、ある意味では具体的なスタートをきったばかりという側面もありますので、そういったところでうまく協力やリンクするような格好で進めていければ良いかなと思います。

ですから、回答ということではなく、教育委員の皆さん方のご意見もふまえて、私もしっかり受け止めて対応していきたいという考え方を持っています。感想的なこともふまえてでありました。

《 議長：教育長 》

ありがとうございました。

先日の12月議会でも不登校の子どもに関して、コミュニティが、地域がどうかかわるかというのも一般質問でも出てますし、県の事業にもそれで出てきてますので、そういったも

のをこれから考えていくのも必要なのかなとは考えております。

《 議長：教育長 》

それでは時間の関係もありますので、次の議題へ入らせていただきます。

(2) です。「多世代が集う地域コミュニティの活性化に向けて(e スポーツ交流事業)」を議題といたします。

それでは、文化生涯学習課の説明をお願いします。

(2) 多世代が集う地域コミュニティの活性化に向けて(e スポーツ交流事業)

《 説明：文化・生涯学習課：資料(別冊2) 》

《 議長：教育長 》

文化・生涯学習課による「多世代が集う地域コミュニティの活性化に向けて(e スポーツ交流事業)」の説明がありました。それでは、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

C 委員。

《 C 委員 》

e スポーツは、今からオリンピック種目になるとか、そういう一面も持っているように大変注目を浴びてると思いますが、然しながら、日本には例えばプロがいらっしゃるんですけど、そのプロの人達も収入が低いとかでまだまだし、所謂、浸透ができていない。また、一般的な感覚の多くは「普通のゲームじゃないか」というちょっと偏見めいたものもあると。そういう中において、これを今からどういうふうに広げていくかっていうのが一番大事なところではないかなと思います。

特に、例えば甘木地域と朝倉地域ではシニアの方の住民性とかの違いもあって、実は昨日朝倉市のコミュニティの会議があったときにこの話が出まして「選手集めるのが大変だった」というようなことでした。実際にシニアの方はまだまだ現役でほとんどの方が仕事をしてあると。そういう人達をどうやって巻き込んでいくのか、そういうような課題もあるのかなと思います。

よって、これをもうちょっと例えば朝倉市独自のもので発展しようというのであれば、そのあたり、所謂、啓発という言葉が適切かどうか分かりませんが、そういうのは本当に大変だろうけど必要だなというふうに感じました。以上です。

《 議長：教育長 》

事務局からありますか。生涯学習課 生涯学習・スポーツ係長。

《 生涯学習課 生涯学習・スポーツ係長 》

仰ってるところはすごくわかります。一番の目的はやはりコミュニティの活性化をしたいところです。

この事業をして良かったと思ったのが、シニアの方がとても喜んでいただいたことです。初めての経験を、私も実際一緒にゲームをさせていただいたんですが、すごく皆さん積極的で、脳の回転が良くなったみたいな形で言われてましたので、まずはシニアを中心にコミュ

ニティの取り組みの中で進めていただいで、その中で、当然、子どもも一緒にできる催しになりますので、子どもをそこにプラスして行ってコミュニティの中で子どもと大人、そしてシニアの方みんなが、何か顔が繋がっていく、繋がりができていくようなことを目指したいと思っております。来年につきましては、その辺りも含めてみんなが楽しく面白くできるような各コミュニティでの展開につなげていけるようにしたいと思っております。

《 議長：教育長 》

C 委員。

《 C 委員 》

特に、朝倉に関して言えばコミュニティが広いので難しい部分もあるかと思えますけれども、例えば、私が住んでる恵蘇宿地区では3世代交流会っていうのが行われてます。所謂、シニア、お年寄りから小学生まで何をやってるかと言うと、ここ数年来は百人一首をやるんですね。お年寄りの方と小学生が百人一首をやる。そういうような取り組みやすいこと、さらには、地域のオリエンテーリングみたいな取り組みでお年寄りと小学生でチームを組んで回ったりとか狭い範囲ではやってるんですけれども。朝倉についてはコミュニティにちょっと来てもなかなかそこに行くのが難しいかなっていうのは正直なところはあります。やりたいことはよくわかりますし、コミュニティの充実のためについていうのもよくわかります。

それを今後、私たちもうちょっとPRしていかなきゃいけない部分もあると思うんですけれども、まずはとにかく集う場にどうやって集めるかっていうところにポイントを見ていただければというふうに思いました。

《 議長：教育長 》

B 委員。

《 B 委員 》

コミュニティの立場から言わせていただくと、今回、文化・生涯学習課の素晴らしいアイデアで甘木コミュニティにしても盛り上がったんじゃないかなというふうに思っております。

シニア体験会から練習をして予選会、そして決勝トーナメントと、それまでに練習したりするのに、ここで言われてます世代間交流、例えば小学生の低学年とおばあちゃんたちが一緒になって練習したり、そういった姿も見られ、文化・生涯学習課が唱える目的とか、求められた姿はこういうものではなかったかと感じたところです。

決勝トーナメントも盛り上がっていましたし、各コミュニティでは試合当日に向けて色々な形で練習してきたと思うんですね。当日は、かなりうまいシニアの方々がたくさんおられて私も非常にびっくりして感心したところでした。

やはり今後は先ほども出ましたように、その機材も場所もあるわけですから、それを地域でどのように活用していくのが課題かなというふうに自分たちも思っております。機材はある、じゃどうやって人を集めるか、ちょっとしたミニ大会みたいなものも企画していきながらeスポーツを拡げて行ければと考えています。ありがとうございました。

《 議長：教育長 》

A 委員。

《 A 委員 》

私もこの前の大会は参加して楽しかったなあと思っています。これはやはり体験型であり、交流型であり、このような形で世代交流ができてプロモーション性が高いっていうの、このやってる方向性は全然間違っていないと思うし、その中で模索していけるように、やっぱり人が集うっていうのはこれから絶対必要になってくると思いますから。

そこで意見ですが、地域コミュニティの活性化の中での e スポーツ事業を年々積み上げていくことは当然必要です。それプラス、できたら私はさっきのフレイル予防って言葉も出てきたので、思い切って施設に出向いて行って施設がアクティブシニアじゃないけど、高齢者施設での活用を積極的に図るのも 1 つの方策かなという気も少ししています。

それと、今回の事業は地元企業で九州パーク運輸さんが協力をしていただいた中で当然成り立つんですけれども、あんな大会形式ではできなくても、是非、先ほどの「こどもまんなか宣言」じゃないんですけど、地域への広がりをつくるためにも、地元企業さんあたりのご理解をいただければ、スポンサー契約を将来的には結んだり、企業としての社会貢献活動がアップするような側面も当然あるわけだから横の広がりを進めていく。

もしかすると地域コミュニティでの活動が当然手薄になったり、人手が足りないところに地元の企業さんが協賛したり、企業さんたちの社員さんが協力してくれるとか、そういう部分では地域の中での企業の価値も当然高まっていくわけですから、話題性を作っていくためにも将来に向けての取り組みも考えていただけたら楽しいのではないかと思います。

《 議長：教育長 》

生涯学習課 生涯学習・スポーツ係長。

《 生涯学習課 生涯学習・スポーツ係長 》

ありがとうございます。高齢者の施設の活用ということが出ましたけれども、ご意見として頂戴したいと思います。

先ほど説明が漏れてましたけれども、委員仰いました九州パーク運輸さんは、e スポーツの実業団が非常に珍しい形態で、市内は杷木地域の星丸にある企業です。そちらの方は午前中が、所謂、パーク運輸のお仕事をされて、野外作業とかされてあって、午後から e スポーツの練習をされるという特殊な業務形態で雇用されております。

今回はシニア体験会から予選会、決勝大会まで、九州パーク運輸の方々の協力をいただきまして、シニア体験からシニアの方と接していただき、九州パーク運輸さんの紹介ももちろんさせていただきながら、こういう企業が市内にありますというような感じでシニアの方々とも触れ合っていました。

九州パーク運輸さんのすごく若い世代の方々が、22～23 歳ぐらいの方々が来ていただきまして、地域の皆さんと地元企業とが連携できたのは非常に良かったなと思っています。以上です。

《 議長：教育長 》

ありがとうございます。九州パーク運輸さんのご協力をいただき取り組みができたということ。それでは市長よりひと言お願いします。

《 市長 》

早野教育長と私は決勝大会のかなり力の入った会場に居りました。当日は 1 階のホールがメイン会場で、2 階で色んな体験コーナーがあって、その中にやはりご意見にも出ましたけれどもフレイル予防のコーナーがありました。歩き方を見て色んな予防とか科学的な分析だったりをしてあったんですけど、おかげさまでまだまだやれるというのがわかりまして喜びました。そして本大会に臨みまして小学生相手に、大会が始まる前にモデル対戦みたいなものをさせられまして、教育長やったら勝ってたかもしれませんが私は見事に負けました。でも、本当に非常に盛り上がって良かったなと思っております。

今日教育委員さん方からいただいた色々なご意見、中でもやはり 3 年目の地域定着をどうやって進めていくかというのは、ある面で非常に難しいコミュニティもありますので、大変だろうとは思いますが頑張っていたきたいと思っております。

百人一首の関係で朝倉地域の恵蘇宿という地区がありますけれども、以前から世代を超えて地域を調べるとか実はずっと長くやられており、これもまた地域活性化の方策の一つと思っています。その中で、今回の e スポーツについては、意義はあるとの実感はしていますので、頑張っていたきたいなあと思いましたので意見として言わせていただきました。

《 議長：教育長 》

はい。ありがとうございます。

実は、明後日、林市長と私は e スポーツで大牟田市長と教育長とオンラインで対戦することになっておりまして、陰ながら応援していただければと思います。これから練習いたします。

それでは以上で (2) 番を終わらせていただきます。最後になりますが、そのほかに委員さんよりございますか。

《 議長：教育長 》

C 委員。

《 C 委員 》

総合教育会議の議題が大変難しいので、なかなか意見が言いづらい部分があります。具体的にこの議題に対して、こういうところで意見が欲しいとか、そういうところをもう少し絞っていただけると我々も助かります。要望です。

《 議長：教育長 》

事前に情報を提供いただきたいという要望ですね。事務局、検討をお願いしたいと思います。

それでは、本日の議題はすべてこれで終わらせていただきます。ご協力ありがとうございました。

《 進行 》

議事進行どうもありがとうございました。

それではレジュメの方に戻らせていただきます。4.その他 になります。

【4. その他】

令和8年度の総合教育会議の運営について

こちらにつきましては、まず事務局より来年度のこの総合教育会議の進め方、運営のあり方というところで、あらかじめ来年度に向けてのご説明を申し上げたいと思います。

資料につきましては、お手元のレジュメ綴じ資料で、5ページをご覧ください。こちらに来年度の総合教育会議に基づくスケジュール案をたたき台として設けております。来年度は朝倉市教育大綱を策定していく年度になりますので、取り組みといたしまして、通年、年2回という形でこの教育会議の運営をしておりますが、来年は3回を予定いたしたく、主にこの5ページの左側の方のスケジュールリングイメージでいきますと、8月ぐらいから動き出します。

具体的には「教育大綱見直しの進め方について」というテーマで第1回を、市の方で教育部も踏まえた策定会議をしましてたたき台を作りましたあと、そして師走に大体、毎年、第2回をしておりますが、そこで素案を提案する。そしてご意見等いただきまして、年明けに打ち返し、また庁内会議で調整を行いまして最終的には年度末に決定を見るという大まかな流れを来年度は考えさせていただいております。イメージとして、この資料をご覧くださいればと思っております。

続きまして、教育大綱策定にあたりましての資料として次の6ページをご覧ください。教育大綱は4年間の内容になっておりまして、概要を(1)でお示しをしております。こちらは市長が策定をする大綱という位置付けになっておりまして、③にございますように、先ほどの子ども計画もそうなんですが上位計画であります総合計画に基づいた形で、この教育大綱も策定をいたしますし、教育委員会が具体的に示しております施策要綱、こちらも連動するような形で毎回策定をしているというところです。上位計画の施策の体系の項目に合致するような流れで策定するということになります。

(2) 経過で一番下にあります③をご覧くださいたいんですけども、現在の教育大綱は令和5年の3月に策定をしまして8年度まで4年間の内容となっています。よって、次は令和9年度から12年度まで4年間の教育大綱を来年度策定をするということになります。

次に、7ページをご覧ください。先ほどスケジュールイメージをお伝えしましたように、来年度の本会議を大体3回ぐらいで予定をしたいというところでもあります。市役所内部の関係所属につきましては6所属がございます。具体的には、教育課、それから文化・生涯学習課、そして子ども未来課と連携をしております健康課が加わります。加えて、関係部署として福祉事務所と人権・同和対策課ということになりますので、そこで庁内の策定にあたっての準備会議を始めるような流れを作っていきたいと思っております。本日は、来年度に向けたところでのイメージをしていただくための資料としてこの5～7ページを付けさせていた

だいております。

来年度に入りましたらこのようなスケジュールで具体的なご案内をさせていただきますけれども、今日のような議題、テーマ設定をしたうえでの運営の部分と、来年度はこの教育大綱に基づく内容が加わるという、特別な1年となりますので、また来年度もご理解とご協力を頂戴したいと存じます。

それから、あわせて教育委員会事務局から「教員の働き方改革」関連の義務化の流れが、動きがあるということで、具体的には今年度で「教員業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定されてあることを承っております。その内容を来年度当初にこの会議で説明をしなければならぬし、毎年度進捗報告の流れが義務化されるとの話を聞いておりますので、今後、所謂、来年度以降のこの総合教育会議のテーマと申しますか、報告案件としての内容になるようです。

よって、8年度以降にはそういうものが、毎年度、加わっていくというところのイメージも合わせていただければと思っているところです。この令和8年度の総合教育会議の運営についての説明については以上です。

教育委員会事務局から補足ありますか。

《 教育部長 》

計画につきましては本年度中に策定予定です。

《 進行 》

本年度策定をされて来年度にその計画の内容の説明が、第1回のこの総合教育会議の中でなされる流れになって、次年度以降は進捗管理報告があるということです。新たにわかりましたのであえて今日申し添えをさせていただきました。

4.その他 につきましては以上でございますが、皆様方から何かございますれば。

《特になし》

【5. 閉会】

《 進行 》

それでは、以上をもちまして令和7年度第2回朝倉総合教育会議を終了とさせていただきます。どうも、ありがとうございました。